

平成 23 年 3 月 30 日

内閣府公共サービス改革推進室

民間競争入札実施事業
内水面漁業生産統計調査業務の評価について（案）

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）第 7 条第 8 項の規定に基づく標記事業の評価は以下のとおりである。

I 事業の概要等

1 実施の経緯及び事業の概要

農林水産省の所管する内水面漁業生産統計調査については、公共サービス改革基本方針（平成 20 年 12 月 19 日閣議決定）において、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律に基づく民間競争入札（以下「民間競争入札」という。）を実施することを決定した。

これを受けて農林水産省は官民競争入札等監理委員会の議を経て定めた「内水面漁業生産統計調査における民間競争入札実施要項」（以下「実施要項」という。）に基づき民間競争入札を実施し、受託事業者を決定した。その概要は以下のとおりである。

事 項	内 容
業務内容	内水面漁業生産統計調査における調査員の確保・指導、調査関係用品の印刷、調査票の送付・回収・受付、督促、照会対応、個票審査、集計、統計表の作成に係る業務
契約期間	平成 21 年 11 月から平成 23 年 8 月までの 1 年 10 か月間
受託事業者	財団法人農林統計協会
契約金額	1 9 5, 3 0 0, 0 0 0 円（税込）
業務に当たり確保されるべき質※	本調査は全数調査であり、調査の対象となる調査客体を漏れなく確実に調査することにより、網羅的かつ正確な統計を作成している。 したがって、調査客体の全てから調査協力を得られるようにし、一連の業務（督促業務等）を通じ、調査票の回収率は 100%を達成すること。

※ なお、本業務を実施するに当たって調査結果の質を確保するため、以下の対応を行うこととされている。

- ・本業務の実施に当たり、実施要項で示す各工程毎に、民間事業者が策定し農林水産省と調整した作業方針、スケジュールに沿って確実に業務を実施すること。
- ・照会対応業務においては、調査票の記入等に関する電話等による照会があった場合は、民間事業者が作成した問い合わせ・苦情マニュアルに沿って対応すること。

2 受託事業者決定の経緯

入札参加者は 2 者であり、いずれも入札参加資格を満たしていた。平成 21 年 10 月 19 日に開札したところ、入札金額は 2 者とも予定価格の範囲内であり、総合評価点の最も高い 1 者が落札者となった。

Ⅱ 評価

1 評価方法について

農林水産省から提出された平成 21 年調査分の実施状況についての報告（別添）に基づき、サービスの質の確保、実施経費等の観点から、事業の評価を行うものとする。

2 対象公共サービスの実施内容に関する評価

（1）対象公共サービスの質

ア 回収率

（ア）実施結果

本事業において確保されるべき質として設定された調査票の「回収率」の実施結果は以下のとおりである。

区 分	目 標	実施結果 (平成 21 年)	(参考) 平成 19 年
回 収 率	100.0 %	99.8 %	100.0 %
調査票配付数		2,699 件	2,792 件
回収数		2,694 件	2,792 件
未回収数		5 件	-

（イ）評価

実施結果は、農林水産省と連携し協力依頼を行ったものの、5 件の調査票を回収することができず、確保されるべき質として設定された回収率目標（100%）を 0.2 ポイント下回る 99.8%となった。

受託事業者は、調査員等による訪問又は電話により調査客体に対して協力依頼を行った上、調査員による訪問、又は郵送、FAXにより調査票の回収を行い、未回収客体については電話による督促を実施した。この結果、調査協力を得ることができなかった 5 件については、農林水産省へ報告し、農林水産省と連携し訪問等により調査への協力依頼を行った結果であることから、目標をほぼ達成できたものと評価できる。また、調査方法についても、調査員による訪問回収が減少（平成 19 年に比べ 380 件減少、調査員数も 396 名減少）し、郵送調査（同 56 件増加）や新たに導入した FAX 調査（226 件導入）に移行しており、調査客体の要望に応じつつ、効率的な方法により調査を実施できたことも評価できる。

しかし、平成 21 年調査から追加したオンライン調査の導入がみられなかったことは、今後、更なる導入促進のための取組みが期待される。

イ 調査票・集計結果の審査、疑義照会

（ア）実施状況

受託事業者は、農林水産省から貸与された「審査事項一覧表」に基づき調査票を確実に審査するため、調査員、都道府県、全国の 3 段階で審査を行い、調査票の未記入や不備等について電話により疑義照会を行った。疑義照会により修正した調査票を基に、農林水産省から貸与された集計プログラムにより集計を行い、集計結果についても「審査事項一覧

表」に基づき審査を行い、疑義が生じた場合には調査票の再審査、疑義照会のうえ、データ修正・再集計を行った。これら調査票・集計結果の審査により行った疑義照会の結果は次のとおりである。

区 分	回収した調査票数	疑義照会件数	農林水産省への 報告までに実施 した件数	農林水産省が確 認を求めた件数
平成 21 年調査	2,699	1,399 (100%)	503 (36%)	896 (64%)
(参考) 19 年調査	2,792	374	-	-

(イ) 評価

受託事業者は、平成 19 年調査時の 3 倍以上に上る約 1,400 件の疑義照会を実施したことは評価できるものの、このうち、約 900 件は、報告後に農林水産省から確認を求められ疑義照会を実施したものである。これらについては、調査員の確保の遅れ等を起因とする調査票回収の遅れにより、審査・疑義照会の時間が十分に確保できなかったことが要因とされ、加えて、審査に当たっては内水面漁業生産統計に関する専門的知見が必要と報告されている。

これらを踏まえ、農林水産省から平成 22 年調査における改善策として、①受託事業者の審査人員の増加（10 名→18 名）、②スケジュール管理の徹底や審査管理シートの作成により、審査者の明確化、多段階審査の確実な実施を徹底すること、③農林水産省による進捗状況の随時把握、適切な指導を行うことが報告されている。これら改善策は、正確な集計結果の作成等の観点から確実な実施が必要と考えられる。また、調査票の記入不備など疑義照会の内容を分析し、調査客体ごとの疑義照会の内容等を受託事業者に提供することや、必要に応じて、「調査票の記入の仕方」や「審査事項一覧表」等調査関係資料の内容の見直しも必要と考えられる。

(2) 実施経費

本事業は、平成 21 年及び 22 年調査に係る 2 年間の事業として民間競争入札を実施し、入札者が提出した企画書及び入札金額について、総合評価（加算方式（価格点 100 点、技術点 200 点））を行い、落札者を決定した。

契約金額は 19,530 万円（税込）であり、従来の実施経費（農林水産省が直接実施した平成 20 年度の実績値（間接部門費を除く全経費）の 2 ヶ年分。）との比較は以下のとおり。

契約金額 19,530 万円は、従来の実施に要した経費の約 54% に相当し、農林水産省側は、2 年間で約 16,634 万円、1 年間で約 8,317 万円の経費が削減されている。

従来経費：361,644 千円（平成 20 年度の実績値の 2 ヶ年分）

契約額：195,300 千円（平成 21 年及び 22 年調査）

削減額：166,344 千円（83,172 千円（1 年分））

3 評価のまとめ

確保されるべき質として設定した調査票の回答率は、5件の調査票を回収することができず、目標の100%には及ばなかったものの、これは、農林水産省と連携し調査協力を行った結果であることから、ほぼ目標を達成できたものと評価できる。また、実施経費についても、従来の実施に要した経費の約5割に相当し、1年間で約8,300万円の経費が削減できたことも評価できる。

このため、次期事業においても引き続き民間競争入札を実施することが適切と考えられるが、本実施状況を踏まえ、調査票・集計結果の審査、疑義照会の確実な実施等に向け、次の点に留意することが必要である。

- (1) 各作業のスケジュール管理を徹底するとともに、農林水産省は、業務の進捗状況を把握し、受託事業者に対する適時、適切な助言等を行うこと。
- (2) 農林水産省は、受託事業者から報告された調査票・集計結果の審査、疑義照会の内容を整理・分析し、調査客体ごとの疑義照会の内容等を受託事業者に提供することや、必要に応じて、「調査票の記入の仕方」や「審査事項一覧表」等調査関係資料の内容の見直しを検討すること。
- (3) 効率的な調査実施等を図る観点からオンライン調査の導入を促進するため、次期事業に当たっては、民間事業者からオンライン調査の導入促進に向けた提案を求め、落札者決定に当たっての評価項目として設定することを検討すること。
- (4) 確保されるべき質を回収率100%として設定することは、調査結果の質を維持する観点から必要と考えられるが、民間事業者の取組だけでは実現が困難と考えられることから、次期事業においても、農林水産省と連携のうえ、民間事業者と農林水産省の双方が実現に向け努力する目標として設定すること。
- (5) 実施経験を踏まえた民間事業者の工夫により、さらなる質の維持、向上や効率的な事業実施を図る観点から、契約期間の延長を検討することが必要である。
- (6) 次期事業の民間競争入札において、事業実績のない民間事業者においても実施状況を踏まえた工夫（企画書の提案）が可能となるよう、実施要項において本実施状況の内容を十分に情報開示することが必要である。

以上

(別添)

平成23年 3 月15日

農林水産省
大臣官房統計部

民間競争入札実施事業
内水面漁業生産統計調査の実施状況について
(平成21年調査分)

I 事業の概要

「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」(平成18年法律第51号)に基づく民間競争入札を行い、以下の内容により平成21年及び22年調査の事業を実施している。

1 事業内容

内水面漁業生産統計調査における実査準備(調査関係用品の印刷、調査客体への協力依頼・確定、調査員の確保・指導)、実査(調査関係用品の配付、調査客体からの問い合わせ・苦情等の対応、調査票の回収・督促)、審査(調査票の審査、調査客体への疑義照会)、集計、統計表の作成及び調査客体への謝礼支給業務

2 契約期間

平成21年11月から23年 8 月までの 1 年10か月間

3 受託者

財団法人 農林統計協会

II 確保すべき質の達成状況及び評価

平成21年調査における確保すべき質の達成状況及び評価は次のとおり。

1 調査票の回収率

調査票の回収率は、民間事業者が内水面漁業に精通した再委託先(民間事業者が、調査員の確保、調査客体への協力依頼及び調査票の配付・回収・督促の業務について再委託を行った先をいう。以下同じ。)を通じて協力依頼を行い、調査依頼時に協力を得ることが極めて困難であると判断した調査客体については、調査への協力が得られるよう、農林水産省と連携して対応したが、最終的に協力を得ることができなかった客体が 5 件あり、99.8%の回収率となった。

調査拒否の理由を確認したところ、信頼関係のあった調査員が変更となったことを挙げた客体が 3 件、行政に対する不満を理由とするものが 1 件、理由を明らかにしな

いものが1件あった。このことから、調査主体が変更となったことを契機に、調査に非協力となった可能性も否定できない。

表1 調査票の回収率

	調査	調査客体数	調査票数	有効回収数	有効回収率
民間事業者 (平成21年)	計	3,607	2,699	2,694	99.8%
	漁獲調査	727	727	727	100.0%
	養殖調査	1,844	1,844	1,839	99.7%
	3湖沼調査	1,036	128	128	100.0%
国 (平成19年)	計	3,926	2,792	2,792	100.0%
	漁獲調査	672	672	672	100.0%
	養殖調査	1,987	1,987	1,987	100.0%
	3湖沼調査	1,267	133	133	100.0%

注1：内水面漁業生産統計調査は、内水面漁業協同組合等の漁獲量等を調査する内水面漁業漁獲統計調査（以下「漁獲調査」という。）、内水面養殖業経営体の収獲量等を調査する内水面養殖業収獲統計調査（以下「養殖調査」という。）及び3湖沼（琵琶湖、霞ヶ浦及び北浦）に属する漁業・養殖業経営体の漁獲量、収獲量等を調査する3湖沼漁業生産統計調査（以下「3湖沼調査」という。）の3調査より構成されている（以下同じ。）。

注2：3湖沼調査においては、水揚機関で生産量等を把握可能な調査客体については、水揚機関で一括して調査を行うことから、1,036調査客体を128件の調査票で取りまとめている（以下同じ。）。

注3：国は平成20年まで直接調査していたが、20年は5年周期に実施するすべての河川及び湖沼を範囲とした調査を実施していたため、調査規模がほぼ等しい平成19年と比較した（以下表2、表3及び表4について同じ。）。

2 調査員の確保、調査客体への協力依頼

民間事業者は、内水面漁業に精通した再委託先が、郵送・FAXで調査を依頼する内水面漁業協同組合以外の調査客体に対し調査を行うため必要とされる調査員の人数を決定・確保し、指導を行った。

調査員の確保については、再委託先が内水面漁業に精通した者を選定することとしていたが、調査に従事可能かつ必要な専門的知見を有した者を確保することに時間を要したことから、当初平成21年12月中に行う予定が22年1月となり、調査員への指導を完了したのは予定より約1週間遅れの1月28日となった。

民間事業者は、農林水産省から貸与された調査客体名簿の調査方法欄に記載されたこれまでの調査方法を参考に、調査員等による訪問（1,015件）又は電話（1,684件）により調査客体に対して協力依頼を行うとともに、調査方法の確認を行った。

なお、電話により協力依頼を行った場合には、後日郵送により協力依頼状を送付した。

3 実査

(1) 調査票の配付

協力依頼を調査員等が訪問して行った場合には直接、電話で行った場合には郵送により 1 月に行った。

(2) 問い合わせ、苦情等の対応状況

調査客体からの照会対応については、「問い合わせ・苦情等対応窓口」を民間事業者内部に設置し、担当者 1 名を置いたほか、各都道府県ごとに配置した担当者及び調査員が随時対応した。

平成22年 1 月から 3 月までに民間事業者が受けた問い合わせ・苦情件数は53件であり、国が直接調査を実施していた19年の73件と比べ減少した（国は20年まで直接調査していたが、20年は 5 年周期に実施するすべての河川及び湖沼を範囲とした調査を実施していたため、調査規模がほぼ等しい19年と比較した。）。

表 2 調査客体から民間事業者への問い合わせ・苦情等対応状況

調査実施主体	合計	調査の概要・目的・方法等について	調査票の内容・記入の仕方について	苦情	その他
民間事業者 (平成21年)	53	7	30	7	9
国 (平成19年)	73				

○ 問い合わせの主な内容

- ・ 調査の概要・目的・方法等について：民間の調査員には教えたくない 等
- ・ 調査票の内容・記入の仕方について：外来魚の記入箇所について 等
- ・ 苦情：調査客体の名前が間違っている 等
- ・ その他：調査票の送付先について 等

(3) 調査票の回収・督促

おおむね予定どおりの 2 月中旬までに調査票を回収した。未回収の調査客体については、調査員又は各都道府県ごとに配置した担当者が電話により延べ336回の督促を行った。

なお、調査員の確保が遅れたこと（18都道府県1,050件、調査員75人）や一部客体において連絡がつかなかったこと等の理由により、すべての調査票を回収したのは、予定より約 3 週間遅れの 3 月 9 日となった。

表3 督促回数

	計	漁獲調査	養殖調査	3湖沼調査
民間事業者 (平成21年)	336	37	260	39
国 (平成19年)	357	49	286	22

4 審査

民間事業者は、農林水産省との打合せを十分行った上で、調査票の審査事項等を記述した手引を作成し、これに基づいて多段階(調査員段階、都道府県段階及び全国段階)での審査体制を整備した。

調査票の審査は、各段階において、審査事項一覧表に基づいて行い、データの未記入、不備等があったものについて、電話により疑義照会を行い、修正した内容についても、同様に審査を行った。

しかしながら、3の(3)にある調査票の回収の遅れにより、審査時間が十分に確保できず、不十分な審査となった調査票もあった。

なお、民間事業者へのヒアリングによると、内水面漁業は生産量等の変動が大きいために、数値の妥当性の判断には、内水面漁業生産統計に関する専門的知見が必要とのことであった。

表4 疑義照会件数

		計	漁獲調査	養殖調査	3湖沼調査
民間事業者 (平成21年)	照会 計	1,399	412	828	159
	件数 概数値	303	141	149	13
	確定値	1,096	271	679	146
国 (平成19年)	照会件数	374	86	212	76

○ 疑義照会の主な内容

- ・遊漁者(レクリエーション目的)による採捕量ではないか
- ・新たに稚魚の販売を始めたのか
- ・単位間違いではないか

5 集計

その後、審査済み調査票を電子化し、農林水産省から貸与された集計プログラムを用いて集計した。集計結果及び調査票の備考欄に記入された増減理由等の増減要因を整理し、都道府県別に「内水面漁業・養殖業生産量に関する情報」を作成した。

6 報告

(1) 集計結果については、審査事項一覧表に基づき審査を行い、疑義が生じた場合は調査票の再審査を行い、必要に応じて調査客体へ電話により疑義照会を行った上で、

- データの修正、再集計を行い、集計結果等を期日どおりに農林水産省に報告した。
- (2) しかしながら、民間事業者から報告された集計結果等を農林水産省で確認したところ、一部地域の集計結果において疑義が生じたことから、民間事業者に対して照会(896件)を行い、再審査した結果、一部の調査票及び集計結果について修正が生じた。
- (3) これは、調査員の確保が遅れた地域において、審査の時間が十分に確保できなかったことにより、審査が不十分なまま農林水産省に報告されたことによる。
- (4) 疑義照会件数は1,399件となり、国が直接調査していた平成19年の374件に比べ、増加した。
- (5) これは、(2) の理由により再照会が生じていること、確定値取りまとめの際にも同様の理由で再照会が行われたためである。

7 確定値取りまとめ

確定値取りまとめについては、調査客体に対して電話又は訪問により変更がないか確認の上で、再審査・集計を行い、スケジュールどおりに農林水産省に報告した。

8 調査客体への謝礼支給

3湖沼調査については、漁獲調査及び養殖調査に比べ、調査項目が多く、調査票の記入に係る調査客体の負担が大きいことから、往復郵送調査に協力した調査客体に対し謝金を支給することとしており、調査終了後、71件に対して謝礼を支給した。

9 評価

一部地域で調査員の確保の遅れから、調査票の回収・督促が遅延したものの、集計・統計表の作成はスケジュールどおり行われ、農林水産省に所定の期日までに報告された。

確保されるべき質として定めた調査票の回収率100%については、調査拒否客体が5件あり、99.8%となった。

調査拒否の客体については、農林水産省と連携しながら、訪問等するなど調査への協力依頼を行ったものの最終的に調査拒否となったものであり、これ以上の協力依頼を行っても協力が得られないと判断でき、やむを得ないものと考えられる。

一方、民間事業者においては、調査員の確保の遅れ等を起因とする調査票の回収の遅れから、一部に審査が不十分なままの調査票がみられたために、再審査、調査客体への再疑義照会、再集計を行う必要が生じた。

平成22年調査においては、調査員は既に確保されており、同様の問題は発生しないと考えられる。

更に、民間事業者においては、21年調査を踏まえ、①審査人員の増加(10人→18人)、②スケジュール管理の徹底、③審査管理シートの作成を行い、これらの措置により、審査を行った者を明確化し、多段階での審査を確実にを行うことを徹底することとしている。また、農林水産省も民間事業者の事業の進捗状況を随時把握し、適切に指導を行うこととする。

Ⅲ 実施経費の状況及び評価

1 実施経費

本業務に要した経費は、下表のとおり（実施経費は概算）。

単位：千円

費 目	見積経費	実施経費
計	97,650	81,983
1 人件費	38,955	26,100
2 事業関係費	46,559	45,007
① 印刷経費	500	384
② 発送費	94	94
③ 研修費	6,028	4,773
④ 謝金	345	163
⑤ 再委託費	39,592	39,592
3 その他 (消費税、事務所費、謝金振込手数料等)	12,136	10,876

注1：見積経費とは、民間事業者が入札時に提示した経費である。

業務初年度における民間事業者の契約時の見積経費と実施経費の主な差異については以下のとおり。

(1) 人件費

見積りでは500人の調査員を配置することを予定していたが、内水面漁業に精通した再委託先が郵送、FAXによる調査を依頼したところ、内水面漁業協同組合を中心として郵送、FAX調査が増加したことにより、調査員を170人としたこと、実査の遅れにより審査及び疑義照会を行う時間を十分に確保することが困難となったため、これらの作業に要する時間が見積りよりも短くなったこと等により減少した。

(2) 事業関係費

ア 印刷経費

3湖沼調査調査票など、水揚機関でまとめて調査することが可能な客体について一括して調査したことから、必要部数が減少したこと等により減少した。

イ 発送費

各都道府県への郵送費は、発送する郵便物の数量が見積りとほぼ同じであったため、見積経費とほぼ同額であった。なお、調査客体への郵送調査費用は、再委託費に含まれているため、ここには計上していない。

ウ 研修費・謝金

研修費については、見積りよりも調査員の数が少なかったことにより減少した。

謝金については、3湖沼調査において、水揚機関において一括調査したことから、見積りよりも往復郵送調査の調査客体数が少なくなったことにより減少した。

エ 再委託費

調査員の確保、調査客体への協力依頼、調査票の配付・回収・督促の業務を再委託先に委託する費用であり、見積経費で契約したため同額となった。

(3) その他（消費税、事務所費、謝礼金振込手数料等）

見積よりも事務所費が減少したことに加え調査員数が少なかったことにより振込手数料が減少したため減少した。

2 評価

平成21年調査における民間事業者の実施経費は8,198万円であり、契約時の見積経費は9,765万円であった。

人件費については、調査員数が減少したことと、審査時間が減少したことが主な要因として挙げられる。

このうち調査員数の減少は、民間事業者が、再委託先を活用することにより、郵送調査化を進めたためである。

しかしながら、審査に要する時間の減少については、審査の効率化の側面も一部あるものの、調査員の確保の遅れに伴い審査時間が十分に確保できなかったことも一因となっており、Ⅱの4にもあるように、審査が不十分なままの報告につながったこともあり、この点においては問題がある。

このため、次回の調査においては、Ⅱの9にあるとおり、今年度審査が不十分であったことの対応として、民間事業者において審査体制の充実を図ることを予定しており、人件費が増加する可能性がある。

事業関係費については、研修費・謝金が調査員数が減少したこと、水揚機関により一括調査を行ったことにより、往復郵送調査の調査客体数が少なくなったことが原因として挙げられる。

IV 事業の実施状況

1 実施体制

調査の人員配置及び各工程ごとに要した人日は以下のとおり。

工程ごとの人員配置と要した人日

工程	人日（配置人数）
実査準備（調査関係用品の印刷、調査客体への協力依頼・確定、調査員の確保・指導）	70人日（2人）
実査（調査関係用品の配付、調査客体からの問い合わせ・苦情等の対応、調査票の回収・督促）	38人日（1人）
審査（調査票の審査、調査客体への疑義照会）	512人日（10人）
集計、統計表の作成	80人日（10人）
調査客体への謝礼支給	5人日（2人）

注：なお、上記以外に再委託先が2人、都道府県ごとの担当者が95人、調査員が170人で対応している。

2 実査準備

(1) 調査関係用品の印刷

調査客体へ送付する調査関係用品及び手引について、農林水産省から提供されたファイルを基に、平成21年12月4日から12月18日までに印刷し、12月22日に農林水産省へ調査関係用品5セットを納品した。

なお、調査関係用品のうち、オンライン調査システムガイドについては、オンライン調査を希望する調査客体の数だけ印刷することとしており、オンライン調査を希望する客体が本年はなかったことから、最小限の印刷部数とした。

印刷部数については、以下のとおり。

調査関係用品印刷物	印刷部数
調査へのご協力をお願い	
① 調査員回収調査用	3,600
② 往復郵送調査用	3,600
封筒	
①送付用封筒（調査関係用品送付用）	3,200
②返信用封筒（往復郵送調査用）	3,200
オンライン調査へのご協力をお願い	3,600
オンライン調査システムガイド	6
内水面漁業漁獲統計調査	
調査票の記入の仕方	1,200
内水面漁業漁獲統計調査票	1,500
内水面養殖業収獲統計調査	
調査票の記入の仕方	2,500
内水面養殖業収獲統計調査票	3,000
3 湖沼漁業生産統計調査	
調査票の記入の仕方	170
3 湖沼漁業生産統計調査票	170
内水面漁業生産統計調査 調査の手引	450

(2) 調査客体への調査の協力依頼・確定

調査開始前に、全調査客体に対して調査の協力依頼を行うとともに、調査実施主体が国から民間に変更になったことを連絡した。また、客体ごとに調査方法やこれまでの経緯を整理し、客体情報の一元化を図り回収・督促業務に利用した。

(3) 調査員の確保・指導

民間事業者において、各都道府県ごとに統計調査及び内水面漁業に精通した担当者を複数名配置するとともに、全国で調査員を170名確保し、各都道府県ごとに研修を行った。

創意工夫として、内水面漁業に精通した再委託先が調査の依頼を行うことで、郵送・FAX調査が増加し、当初の予定に比べ調査員数は減少している。

3 実査

(1) 調査関係用品の配付

調査関係用品の配付については、調査員が調査客体に調査方法（往復郵送調査、FAX調査、オンライン調査又は調査員調査）を確認の上で、調査員が調査客体に直接手渡し又は郵送により平成22年1月に配付した。

(2) 調査客体からの問い合わせ・苦情等の対応

調査客体からの問い合わせ・苦情等の対応については、「問い合わせ・苦情等対

応窓口」を民間事業者内部に設置し、担当者1名を置いたほか、各都道府県ごとに配置した業務担当者及び調査員が電話により随時対応した。

調査客体から照会があった場合には、適宜これに対応するとともに、「問い合わせ・苦情等対応状況」に内容を整理するとともに、民間事業者の創意工夫により、その内容をデータベース化し、随時、更新することで情報を蓄積し、内部で情報を共有することにより、照会対応の効率化を図った。

(3) 調査票の回収・督促

調査客体から指定した期日までに調査票を回収するとともに、未回収調査客体に対して電話により督促を行った。

調査票の回収については、調査員の面接・聞き取り、郵送、オンライン又はFAXの中から調査客体が希望する方法により行った（調査員の面接・聞き取り1,022件、郵送1,446件、オンライン0件、FAX226件（国調査時（平成19年）調査員の面接・聞き取り1,402件、郵送1,390件））。

調査票の回収・督促業務の実施状況は以下のとおり。

	人日	日程
合 計	22	
調査票の回収	20	22年1月20日～3月9日
督促業務	2	22年1月25日～3月9日

注：なお、上記以外に再委託先が2人、都道府県ごとの担当者が95人、調査員が170人で対応している（以下4についても同じ。）。

4 審査

調査票の審査については、概数値取りまとめにおいて、審査事項一覧表に基づき多段階で審査を行った。

審査基準に合わない調査客体については、該当する調査客体に対して各都道府県の業務担当者又は調査員が電話により疑義照会を行い、必要に応じて修正を行った。

確定値の取りまとめに当たっては、概数値取りまとめ以降に変更がないか調査客体に対して電話又は訪問により確認を行い、再審査を行った上で、誤りのないことを確認して数値を確定した。

調査票の審査、調査客体への疑義照会業務の実施状況は以下のとおり。

		人日	日程
合 計		512	
概数値	調査票の審査	186	22年1月25日～3月10日
	調査客体への疑義照会	80	22年1月25日～3月9日
確定値	調査票の審査	74	22年6月15日～8月23日
	調査客体への疑義照会	172	22年6月15日～8月10日

5 集計、統計表の作成

審査済みのデータを入力して、農林水産省から貸与された内水面漁業生産統計調査集計プログラムを用いて集計、審査し、全国・都道府県別・河川湖沼別結果表及び本年値と前年値が記載された全国・都道府県別・河川湖沼別検討表を作成した。

作成した結果データについては、民間事業者が各都道府県ごとに審査事項一覧表に基づき、本年値と前年値の比較検討を行い、審査基準と合わない場合には、その要因について検討し、該当する調査客体に対して疑義照会を行うとともに、必要に応じ調査票の修正を行い、調査票の内容や内水面漁業関連情報を各都道府県ごとの「内水面漁業・養殖業生産量に関する情報」に取りまとめた。

審査終了後の結果データについては、農林水産省が定めた実施要項に則り、画一的な秘匿措置（調査件数が3未満の場合、当該数値を記号に変換）を行い、定められた期日までに農林水産省に納品した。創意工夫した点として、秘匿措置を講ずるためのプログラムを新たに開発し、秘匿措置に係る時間の短縮を図った。

集計・統計表の作成の実施状況は以下のとおり。

	人日	日程
合 計	80	
概数値	53	22年3月15日～3月24日
確定値	27	22年8月10日～8月24日

6 調査客体への謝礼支給

3湖沼統計調査の調査客体のうち、往復郵送調査の方法により調査を実施した水揚機関等（71件）に対して調査終了後に確認した口座に対して謝金（2,300円）を現金振り込みにより支給した。

調査客体への謝礼支給業務の実施状況は以下のとおり。

- ・平成22年5月6日～5月28日
- ・延べ5人日

調査客体への謝礼支給の状況は以下のとおり。

	調査客体数	受領辞退客体数	支給金額
謝礼支給	71	0	163,300円

7 調査客体への対応状況

平成22年8月末現在の内水面漁業生産統計調査における調査客体に対して、アンケートを郵送により行い、民間事業者の対応状況について把握した。

(1) 実施状況

①事務局からの調査協力依頼状況、②調査員の対応状況、③事務局への問い合わせ等の対応状況、④事務局からの督促対応状況、⑤事務局からの内容照会等対応状況、⑥事務局全体の感想について、アンケートを実施（22年9月2日発送、9月22日締め切り）した。

アンケートは、平成21年内水面漁業生産統計調査で調査票を記入した調査客体を対象とし、回収率50%を想定して抽出した調査客体を対象にアンケート調査票を郵送し、回答があったものを集計した。調査対象数、回答数等は以下のとおり。

	対象数	有効回答数	有効回収率
合 計	672	306	45.5%
漁 獲 調 査	182	115	63.2%
養 殖 調 査	458	178	38.9%
3 湖 沼 調 査	32	13	40.6%

(2) 集計結果

ア 調査協力依頼状況

調査の協力依頼について「郵送」（162客体）、「訪問」（99客体）、「電話」（42客体）で行われたと回答のあった客体のうち、「訪問」又は「電話」で協力依頼があったと回答した客体から、時間帯について「不都合であった」との回答が5件、対応態度について「悪い」又は「どちらかという悪い」という回答が2件、説明内容について「分かりづらい」又は「どちらかという分かりづらい」との回答が3件あった。

イ 調査員の対応状況

「調査員の面接・聞き取り」により調査が行われたと回答のあった客体（105客体）のうち、調査員の訪問の時間帯について、「不都合があった」との回答が6件、対応態度について、「どちらかという悪い」又は「悪い」との回答が2件、調査票を「記入しなくてよいといわれた」又は「記入できるところだけでよいといわれた」との回答が6件あり、不適切な対応があったと思われる。

ウ 問い合わせ等の対応状況

事務局に対して問い合わせを行ったと回答のあった客体（25客体）のうち、問い合わせに対する回答までの時間が「どちらかといえば長かった」又は「長かった」との回答が2件あったほかは、対応・態度・説明内容等について好意的な回答であった。

エ 督促対応状況

事務局から調査票の提出に対する督促が「あった」と回答のあった客体（36客体）のうち、督促電話の時間帯について「不都合があった」との回答が1件、対応態度で「悪い」との回答が1件、調査票を「記入できるところだけでよいといわれた」との回答が1件、督促に対する説明時間が「長かった」との回答が1件あり、不適切な対応があったと思われる。

オ 内容照会等対応状況

事務局から調査票についての内容照会が「あった」と回答のあった客体（76客体）からは、内容照会の説明について「どちらかといえばわかりづらい」が1件、説明時間が「どちらかといえば長かった」が3件あった。

内水面漁業生産統計調査の実施状況に関するアンケート集計結果

◎アンケート回収率

	対象数	有効回答数	有効回答率
合 計	672	306	45.5%
漁 獲 調 査	182	115	63.2%
養 殖 調 査	458	178	38.9%
3 湖 沼 調 査	32	13	40.6%

【事務局からの調査協力依頼状況】

問 1 調査の協力依頼は、どのように行われましたか。

	回答調査対象数		訪問		電話		郵送		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	306	100.0%	99	32.4%	42	13.7%	162	52.9%	3	1.0%
漁 獲	115	100.0%	37	32.2%	14	12.2%	64	55.7%	–	0.0%
養 殖	178	100.0%	55	30.9%	27	15.2%	93	52.2%	3	1.7%
3 湖 沼	13	100.0%	7	53.8%	1	7.7%	5	38.5%	–	0.0%

問 1 – 1 調査協力依頼の時間帯はいかがでしたか。

	計		特に問題ない		就業時間内で不都合があった		就業時間外で不都合があった		わからない		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	141	100.0%	128	90.8%	4	2.8%	1	0.7%	6	4.3%	–	0.0%
漁 獲 調 査	51	100.0%	49	96.1%	–	0.0%	–	0.0%	1	2.0%	1	2.0%
養 殖 調 査	82	100.0%	71	86.6%	4	4.9%	1	1.2%	5	6.1%	1	1.2%
3 湖 沼 調 査	8	100.0%	8	100.0%	–	0.0%	–	0.0%	–	0.0%	–	0.0%

問 2 調査協力依頼の事務局の対応態度は、いかがでしたか。

	計		良い		どちらかといえば良い		どちらかといえば悪い		悪い		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	141	100.0%	92	65.2%	45	31.9%	1	0.7%	1	0.7%	2	1.4%
漁 獲 調 査	51	100.0%	37	72.5%	14	27.5%	–	0.0%	–	0.0%	–	0.0%
養 殖 調 査	82	100.0%	49	59.8%	29	35.4%	1	1.2%	1	1.2%	2	2.4%
3 湖 沼 調 査	8	100.0%	6	75.0%	2	25.0%	–	0.0%	–	0.0%	–	0.0%

問 2 で「どちらかといえば悪い」又は「悪い」と回答があった場合の具体例

- ・一度電話で連絡があったが、その後は直接連絡を頂けなかった。

問 3 調査の協力依頼の事務局の説明内容は、いかがでしたか。

	計		分かりやすい		どちらかといえば分かりやすい		どちらかといえば分かりづらい		分かりづらい		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	141	100.0%	78	55.3%	56	39.7%	1	0.7%	2	1.4%	4	2.8%
漁 獲 調 査	51	100.0%	32	62.7%	18	35.3%	–	0.0%	–	0.0%	1	2.0%
養 殖 調 査	82	100.0%	40	48.8%	38	46.3%	–	0.0%	2	2.4%	2	2.4%
3 湖 沼 調 査	8	100.0%	6	75.0%	–	0.0%	1	12.5%	–	0.0%	1	12.5%

問 3 で「どちらかといえば分かりづらい」又は「分かりづらい」と回答があった場合の具体例

- ・協力を依頼した人が、内水面の魚について詳しくない人だった。

問４ 調査の協力依頼は、どのような方法がよいですか。

	計		訪問		電話		郵送		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	306	100.0%	71	23.2%	44	14.4%	175	57.2%	6	2.0%	10	3.3%
漁 獲 調 査	115	100.0%	28	24.3%	20	17.4%	65	56.5%	1	0.9%	1	0.9%
養 殖 調 査	178	100.0%	38	21.3%	24	13.5%	104	58.4%	5	2.8%	7	3.9%
3 湖 沼 調 査	13	100.0%	5	38.5%	-	0.0%	6	46.2%	-	0.0%	2	15.4%

問４で「その他」と回答があった場合の具体例

- ・国に対して直接郵送で返信する。
- ・内容により、訪問調査と電話を使い分ける。
- ・電子メール。

問５ 事務局の調査の協力依頼について、お気づきの点がありましたらご自由にお書きください

- ・決算処理時期であり多忙。非常にわずらわしい。
- ・訪問日時をあらかじめ電話願いたい。
- ・なるべく対面で調査をお願いしたい。
- ・８月は忙しいので避けてもらいたい。

【調査員の対応状況】

問１ 調査は、どのような方法により行われましたか。

	計		調査員の面接・聞き取り		郵送		その他(FAX等)		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	306	100.0%	105	34.3%	169	55.2%	15	4.9%	17	5.6%
漁 獲 調 査	115	100.0%	35	30.4%	65	56.5%	6	5.2%	9	7.8%
養 殖 調 査	178	100.0%	63	35.4%	99	55.6%	8	4.5%	8	4.5%
3 湖 沼 調 査	13	100.0%	7	53.8%	5	38.5%	1	7.7%	-	0.0%

問１－１ 訪問の時間帯に問題はありましたか。

	計		特に問題ない		就業時間内で不都合があった		就業時間外で不都合があった		わからない		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	105	100.0%	94	89.5%	6	5.7%	-	0.0%	4	3.8%	1	1.0%
漁 獲 調 査	35	100.0%	33	94.3%	1	2.9%	-	0.0%	1	2.9%	-	0.0%
養 殖 調 査	63	100.0%	54	85.7%	5	7.9%	-	0.0%	3	4.8%	1	1.6%
3 湖 沼 調 査	7	100.0%	7	100.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%

問２ 調査員の対応態度は、いかがでしたか。

	計		良い		どちらかといえば良い		どちらかといえば悪い		悪い		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	105	100.0%	73	69.5%	29	27.6%	1	1.0%	1	1.0%	1	1.0%
漁 獲 調 査	35	100.0%	24	68.6%	11	31.4%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
養 殖 調 査	63	100.0%	42	66.7%	18	28.6%	1	1.6%	1	1.6%	1	1.6%
3 湖 沼 調 査	7	100.0%	7	100.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%

問２で「どちらかといえば悪い」又は「悪い」と回答があった場合の具体例

- ・えらそうな態度だった。

問3 調査員の説明の中で、調査票の記入を軽視するような発言はありましたか。

	計		なかった		記入しなくてよい(白紙でもよい)といわれた		記入できるところだけでよいといわれた		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	105	100.0%	95	90.5%	1	1.0%	5	4.8%	2	1.9%	2	1.9%
漁 獲 調 査	35	100.0%	32	91.4%	–	0.0%	3	8.6%	–	0.0%	–	0.0%
養 殖 調 査	63	100.0%	56	88.9%	1	1.6%	2	3.2%	2	3.2%	2	3.2%
3 湖 沼 調 査	7	100.0%	7	100.0%	–	0.0%	–	0.0%	–	0.0%	–	0.0%

問3で「その他」と回答があった場合の具体例

- ・覚えていない。
- ・問題ばかり。

問4 調査員の対応について、お気づきの点がありましたらご自由にお書きください。

- ・丁寧に説明してもらい、大変分かりやすかった。
- ・業界の状況を考慮して言葉を選んで欲しい。
- ・親切で分かりやすかった。
- ・大変良いと思う。

【事務局への問い合わせ等の対応状況】

問1 事務局へ問い合わせ等をされましたか。

	計		した		しなかった		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	306	100.0%	25	8.2%	261	85.3%	20	6.5%
漁 獲 調 査	115	100.0%	13	11.3%	95	82.6%	7	6.1%
養 殖 調 査	178	100.0%	11	6.2%	154	86.5%	13	7.3%
3 湖 沼 調 査	13	100.0%	1	7.7%	12	92.3%	–	0.0%

問1-1 問1で「した」と選択された場合、どのようなことで問い合わせされましたか。

	計		調査の内容に係る問い合わせ		調査に対する意見・要望		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	25	100.0%	17	68.0%	1	4.0%	5	20.0%	2	8.0%
漁 獲 調 査	13	100.0%	12	92.3%	–	0.0%	1	7.7%	–	0.0%
養 殖 調 査	11	100.0%	4	36.4%	1	9.1%	4	36.4%	2	18.2%
3 湖 沼 調 査	1	100.0%	1	100.0%	–	0.0%	–	0.0%	–	0.0%

問1-1の内容の具体例

- ・漁獲量は販売目的とした数量なのかどうか。
- ・前回調査内容との比較確認。
- ・調査票の回収時期、方法について。

問2 事務局へ問い合わせ等されたときの電話のつながり具合は、いかがでしたか。

	計		すぐつながった		どちらかといえばすぐつながった		どちらかといえば待たされた		待たされた		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	25	100.0%	14	56.0%	5	20.0%	–	0.0%	–	0.0%	6	24.0%
漁 獲 調 査	13	100.0%	10	76.9%	2	15.4%	–	0.0%	–	0.0%	1	7.7%
養 殖 調 査	11	100.0%	4	36.4%	3	27.3%	–	0.0%	–	0.0%	4	36.4%
3 湖 沼 調 査	1	100.0%	–	0.0%	–	0.0%	–	0.0%	–	0.0%	1	100.0%

問3 事務局の対応態度は、いかがでしたか。

	計		良い		どちらかといえば良い		どちらかといえば悪い		悪い		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	25	100.0%	15	60.0%	6	24.0%	–	0.0%	–	0.0%	4	16.0%
漁 獲 調 査	13	100.0%	12	92.3%	1	7.7%	–	0.0%	–	0.0%	–	0.0%
養 殖 調 査	11	100.0%	2	18.2%	5	45.5%	–	0.0%	–	0.0%	4	36.4%
3 湖 沼 調 査	1	100.0%	1	100.0%	–	0.0%	–	0.0%	–	0.0%	–	0.0%

問3で「どちらかといえば悪い」又は「悪い」と回答があった場合の具体例

- ・なし

問4 問い合わせ等に対する事務局の説明内容は、いかがでしたか。

	計		わかりやすい		どちらかといえばわかりやすい		どちらかといえばわかりづらい		わかりづらい		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	25	100.0%	14	56.0%	7	28.0%	–	0.0%	–	0.0%	4	16.0%
漁 獲 調 査	13	100.0%	10	76.9%	2	15.4%	–	0.0%	–	0.0%	1	7.7%
養 殖 調 査	11	100.0%	3	27.3%	5	45.5%	–	0.0%	–	0.0%	3	27.3%
3 湖 沼 調 査	1	100.0%	1	100.0%	–	0.0%	–	0.0%	–	0.0%	–	0.0%

問5 問い合わせ等に対する事務局の回答までの時間は、いかがでしたか。

	計		短かった		どちらかといえば短かった		どちらかといえば長かった		長かった		その場での回答がなかった		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	25	100.0%	10	40.0%	8	32.0%	1	4.0%	1	4.0%	–	0.0%	5	20.0%
漁 獲 調 査	13	100.0%	8	61.5%	3	23.1%	1	7.7%	–	0.0%	–	0.0%	1	7.7%
養 殖 調 査	11	100.0%	1	9.1%	5	45.5%	–	0.0%	1	9.1%	–	0.0%	4	36.4%
3 湖 沼 調 査	1	100.0%	1	100.0%	–	0.0%	–	0.0%	–	0.0%	–	0.0%	–	0.0%

問6 事務局の問い合わせ等の対応について、お気づきの点がありましたらご自由にお書きください。

- ・自由に聞ける。

【事務局からの督促対応状況】

問1 事務局から調査票の提出に対する督促がありましたか。

	計		あった		なかった		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	306	100.0%	36	11.8%	248	81.0%	22	7.2%
漁 獲 調 査	115	100.0%	15	13.0%	94	81.7%	6	5.2%
養 殖 調 査	178	100.0%	20	11.2%	142	79.8%	16	9.0%
3 湖 沼 調 査	13	100.0%	1	7.7%	12	92.3%	–	0.0%

問１－１ 問１の電話の時間帯は、いかがでしたか。

	計		特に問題ない		就業時間内で不都合があった		就業時間外で不都合があった		わからない		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	36	100.0%	33	91.7%	1	2.8%	－	0.0%	1	2.8%	1	2.8%
漁 獲 調 査	15	100.0%	14	93.3%	－	0.0%	－	0.0%	1	6.7%	－	0.0%
養 殖 調 査	20	100.0%	18	90.0%	1	5.0%	－	0.0%	－	0.0%	1	5.0%
3 湖 沼 調 査	1	100.0%	1	100.0%	－	0.0%	－	0.0%	－	0.0%	－	0.0%

問２ 事務局の対応態度はいかがでしたか。

	計		良い		どちらかといえば良い		どちらかといえば悪い		悪い	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	36	100.0%	22	61.1%	13	36.1%	－	0.0%	1	2.8%
漁 獲 調 査	15	100.0%	9	60.0%	6	40.0%	－	0.0%	－	0.0%
養 殖 調 査	20	100.0%	12	60.0%	7	35.0%	－	0.0%	1	5.0%
3 湖 沼 調 査	1	100.0%	1	100.0%	－	0.0%	－	0.0%	－	0.0%

問２で「どちらかといえば悪い」又は「悪い」と回答があった場合の具体例

・なし

問３ 事務局の説明の中で、調査票の記入を軽視するような発言はありませんでしたか。

	計		なかった		記入しなくてよい(白紙でもよい)と言われた		記入できるところだけよいと言われた		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	36	100.0%	32	88.9%	－	0.0%	1	2.8%	－	0.0%	3	8.3%
漁 獲 調 査	15	100.0%	13	86.7%	－	0.0%	1	6.7%	－	0.0%	1	6.7%
養 殖 調 査	20	100.0%	18	90.0%	－	0.0%	－	0.0%	－	0.0%	2	10.0%
3 湖 沼 調 査	1	100.0%	1	100.0%	－	0.0%	－	0.0%	－	0.0%	－	0.0%

問３で「その他」と回答があった場合の具体例

・なし

問４ 事務局の督促に対する説明時間は、いかがでしたか。

	計		短かった		どちらかといえば短かった		どちらかといえば長かった		長かった		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	36	100.0%	16	44.4%	15	41.7%	－	0.0%	1	2.8%	4	11.1%
漁 獲 調 査	15	100.0%	6	40.0%	7	46.7%	－	0.0%	－	0.0%	2	13.3%
養 殖 調 査	20	100.0%	10	50.0%	7	35.0%	－	0.0%	1	5.0%	2	10.0%
3 湖 沼 調 査	1	100.0%	－	0.0%	1	100.0%	－	0.0%	－	0.0%	－	0.0%

問５ 事務局の督促の対応について、お気づきの点がありましたらご自由にお書きください。

・なし

【事務局からの内容照会等対応状況】

問１ 事務局から調査票について内容照会等がありましたか。

	計		あった		なかった		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	306	100.0%	76	24.8%	213	69.6%	17	5.6%
漁 獲 調 査	115	100.0%	26	22.6%	85	73.9%	4	3.5%
養 殖 調 査	178	100.0%	45	25.3%	120	67.4%	13	7.3%
3 湖 沼 調 査	13	100.0%	5	38.5%	8	61.5%	－	0.0%

問１－１ 問１の電話の時間帯は、いかがでしたか。

	回答調査対象数		特に問題ない		就業時間内で不都合があった		就業時間外で不都合があった		わからない		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	76	100.0%	69	90.8%	－	0.0%	－	0.0%	1	1.3%	6	7.9%
漁 獲	26	100.0%	25	96.2%	－	0.0%	－	0.0%	－	0.0%	1	3.8%
養 殖	45	100.0%	39	86.7%	－	0.0%	－	0.0%	1	2.2%	5	11.1%
3 湖 沼	5	100.0%	5	100.0%	－	0.0%	－	0.0%	－	0.0%	－	0.0%

問２ 事務局の対応態度はいかがでしたか。

	回答調査対象数		良い		どちらかといえば良い		どちらかといえば悪い		悪い		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	76	100.0%	53	69.7%	20	26.3%	－	0.0%	－	0.0%	3	3.9%
漁 獲	26	100.0%	23	88.5%	3	11.5%	－	0.0%	－	0.0%	－	0.0%
養 殖	45	100.0%	26	57.8%	16	35.6%	－	0.0%	－	0.0%	3	6.7%
3 湖 沼	5	100.0%	4	80.0%	1	20.0%	－	0.0%	－	0.0%	－	0.0%

問２で「どちらかといえば悪い」又は「悪い」と回答があった場合の具体例

・なし。

問３ 事務局の調査票についての内容照会の説明はいかがでしたか。

	回答調査対象数		わかりやすい		どちらかといえばわかりやすい		どちらかといえばわかりづらい		わかりづらい		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	76	100.0%	46	60.5%	25	32.9%	1	1.3%	－	0.0%	4	5.3%
漁 獲	26	100.0%	20	76.9%	6	23.1%	－	0.0%	－	0.0%	－	0.0%
養 殖	45	100.0%	23	51.1%	18	40.0%	1	2.2%	－	0.0%	3	6.7%
3 湖 沼	5	100.0%	3	60.0%	1	20.0%	－	0.0%	－	0.0%	1	20.0%

問４ 事務局の内容照会の説明時間は、いかがでしたか。

	回答調査対象数		短かった		どちらかといえば短かった		どちらかといえば長かった		長かった		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	76	100.0%	28	36.8%	38	50.0%	3	3.9%	－	0.0%	7	9.2%
漁 獲	26	100.0%	13	50.0%	11	42.3%	1	3.8%	－	0.0%	1	3.8%
養 殖	45	100.0%	14	31.1%	23	51.1%	2	4.4%	－	0.0%	6	13.3%
3 湖 沼	5	100.0%	1	20.0%	4	80.0%	－	0.0%	－	0.0%	－	0.0%

問５ 事務局の内容照会状況等の対応について、お気づきの点がありましたらご自由にお書きください。

・大変良いと思います。

【事務局全体の感想】

問１ 事務局への全体的な感想は、いかがでしたか。

	回答調査対象数		満足であった		どちらかといえば満足であった		どちらかといえば不満足であった		不満足であった		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	306	100.0%	94	30.7%	152	49.7%	11	3.6%	2	0.7%	47	15.4%
漁 獲	115	100.0%	41	35.7%	54	47.0%	6	5.2%	－	0.0%	14	12.2%
養 殖	178	100.0%	49	27.5%	90	50.6%	5	2.8%	2	1.1%	32	18.0%
3 湖 沼	13	100.0%	4	30.8%	8	61.5%	－	0.0%	－	0.0%	1	7.7%

問2 事務局についてお気づきの点がありましたらご自由にお書きください。

- ・全体に良かった。
- ・調査結果について何かのタイミングで公表通知下さればと思います。
- ・当施設の担当責任者が不在が多く、電話に対し留守が多く逆に迷惑をかけたと思います。
- ・特にないが、身分証、名刺等の提示がないため、本当に農水省関係の人かどうか分からない。
- ・必ずお電話を下さってからの訪問ですので、こちらも対応がしやすいです。薬品の取扱いについて等もこちらの質問にも気持ちよく相談に乗ってくださる職員の方もいて有り難く思っております。
- ・聞き取り調査だったので楽でした。
- ・郵送なので特に何も感想はない。